

原子力機構

技術交流情報

No.18



平成22年9月6日発行

敦賀本部

【技術交流トピックス】 技術交流をビジネスに！

平成22年6月30日、福井県鉄工業協同組合連合会殿57名による「もんじゅ・ふげん」の施設見学 & 技術交流会が行なわれました。この交流会は平成15年12月に、福井県内鉄工業界・機械工業界が新産業の創出を目指し「もんじゅ技術利用研究会」として組織されたもので、機構が持つ技術の利用を探り、10年かけて福井県ならではのビジネスにしたいとの目的で進められてきており、過去11回の実績があります。今回の技術交流会では、初めて福井県鉄工連殿の代表である松浦会長と、もんじゅ・ふげんの両所長との懇談が実現しました。松浦会長からは、もんじゅの試運転再開を期に更なる地域企業との結び付きやもんじゅの立地県としての、福井県産業界の将来展望など、もんじゅに対する期待を熱く語られました。ふげんの現場においては廃止措置が本格的に始まるまでに、解体工事の技術的ノウハウが少しでも身に付けることが出来れば全国の原子力施設を対象とした産業に発展できるとのご意見もあり、今後の密な情報交換について議論されました。



福井県鉄工連殿によるもんじゅでのナトリウム実験の様子

また、7月16日には「新潟県原子力活用協議会」殿のメンバー10名が、「もんじゅ・ふげん」を訪問されました。新潟県原子力活用協議会殿によるふげんでの交流会の様子

元々、本協議会は新潟県のものづくり企業が技術を持ち寄り原子力ビジネスと係りながら自律的に発展していくモデルケースとして進めて行こうというもので、特にバックエンドビジネスを主体とした産業振興を目的に発足されました。今回はとりわけ、ふげんにおける廃炉技術の研究開発や地域企業との連携・参入について、活発な意見交換がなされました。今後も、敦賀本部では県内はもとより県外の各企業団体との技術交流を進め、更なる連携協力を図って行きたいと思っております。

【新制度導入】 「技術課題解決促進事業」(公募型)

敦賀本部では、平成22年度より新制度として「技術課題解決促進事業」を開始致しました。「技術課題解決促進事業」とは、原子力機構が抱える研究課題や、企業等から受けた技術相談について、その課題解決に結びつける事を目的に予め実用化への成立性を見極める事業です。次年度以降の成果展開事業や共同研究への進展を見据え、その一部について予め、企業の皆様に試作品の製作や調査等を行なっていただくものです。

応募資格

・福井県内の企業、もしくは福井県内に事業所を構える企業

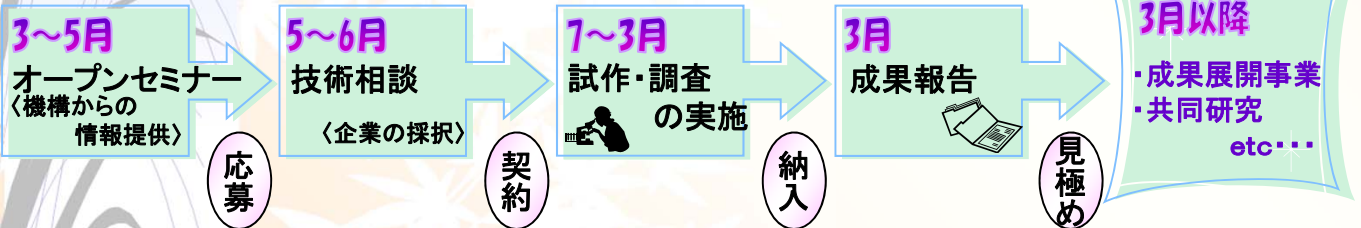
事業費用

・1件につき100万円以下

実施期間

・契約締結から平成23年3月末

＜技術課題解決促進事業フロー＞



平成22年度「技術課題解決促進事業」は、県内企業20社より応募いただき、10社が採択されました。また、平成23年度も継続して実施していきますので、よろしくお願い致します。

独立行政法人 日本原子力研究開発機構
 敦賀本部 経営企画部 技術展開推進Gr 担当-中島 準作(桑原 由圭)
 〒914-8585 福井県敦賀市木崎65-20
 TEL:0770-21-5033 FAX:0770-25-5782 <http://www.jaea.go.jp/>